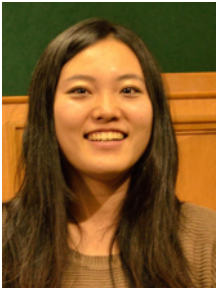


ちいさな証

顧みられた者として

フーサー香織

スイス日本語福音キリスト教会



”神様のために働くことは教師になってもできるけど、でも、もっとダイレクトにその働きをすることはできないのか。教えることも大好きだけど、そうじゃなく、もっと神様のことをダイレクトに伝えたい。神様の愛を伝えたい。何故なら私はもう救われたから。神様の愛を

知っているから。もっとこの喜びを多くの人に知ってもらいたいから。”

教師になることを志して入学した大学を卒業する際、私はこのような思いを日記に書き留め神様に祈りを捧げました。そして神様はこの祈りを心に留められ、いま私はシモンと共に宣教師として日本に渡ろうとしています。

宣教師となるビジョンを持ちながら、私は2014年に結婚のためスイスに渡ってきました。それは、海外旅行はしたことがあっても海外に住んだことのない私にとってある種の（怖いもの知らずの）冒険でした。初めてだらけのスイス生活。言葉や文化、人間関係。それらの「初めてづくし」をサポートしてくれる方一人ひとりと出会わせて下さった神様には、本当に感



謝の言葉しかありません。

そしてスイスに来てから今まで、それらに対し全力でぶつかっていきました。ぶつかり続けて突破できた壁もあれば、打ちのめされる壁もありました。神様に導かれて与えられた道という確信があっても尚、時にその壁は想像を絶するダイナミックさで立ちは大かかってきました。

そんな時、私は自分の不甲斐なさを否応なくひしひしと痛感させられました。「どうして私はこうなのだろう…」「どうして私はできないんだろう…」その度に私は自分の無力さを感じました。しかしそれと同時に「だから私には神様が必要なんだ」と、出来ない・弱い自分を受け止めて、へりくだった心で神様のもとに立ち返ることが出来ました。私のことを大きなその両手で受け入れてくださる神様の存在。この愛なる神様の存在なくして私は生きていけません。

私がスイスで神様から示された、このどんな弱さがあっても認めて受け入れてくれる神様の存在を、日本に住む一人でも多くの人に伝えて彼らの心にも神様から来る平安が与えられるように働きたいと願っています。つぎはどんな冒険が始まるのか？主に信頼し、夫婦ともども全力でぶつかっていきます！

● 私たちのビジョン

日本に渡って私たちがまず行うことは、語学習得（シモン）と神学校での聖書の学び（香織）です。私たちは4月に日本に渡りますが、これらは8月に北海道に渡った時から始まります。（4月は休暇として香織の両親や友人との時間を過ごし、5月からOMFの働きをします。その時は実家近くの関東近郊で他の宣教師の方々の仕事をサポートしたいと思っています。6月の終わりから7月にかけてシンガポールで研修があり、その後北海道に渡り、正式に私たちの活動が始まります。）シモンは2年間語学学校で日本語を学びます。それと同時に、この2年間で日本を知ることも大切なことだと思います。また、私も約1年間北海道聖書学院にて聖書の学びをする予定です。宣教の地に赴くべく、御言葉と聖書の知識を心と頭に蓄えるいい時間になればと願っています。時には辛いこともあるかと思いますが有意義な時間となるようお祈りくだされば感謝です。

札幌での学びを終えた後、私たちはそこで具体的な活動内容を決める段階に至ります。私たちは神様に示された場所で、示された働きをしたいと願っています。現段階では具体的に「この働きをしたい！」という明確なものはまだありませんが、牧会活動やユースミニストリー、また海外からの帰国者ミニストリーなどに携われたら素敵だなあと考えています。神様が私たちをどのように用いてくださるのか、期待しつつそのために出来ることから準備を始めていきたいです。

